

	所 属	現代社会学部 現代社会学科
	専 攻	こども専攻
	主な担当科目	基礎技能(音楽表現)、保育内容(表現)、子どもの音楽遊び、音楽コミュニケーション、教職実践演習、幼稚園実習関連科目
	氏 名	古根川 円
	フリガナ	コネガワ マドカ
	職 位	准教授
	学 位 等	教育学修士

研究内容・社会業績等

(研究内容)

- イメージすることによる音楽表現・演奏技術の変化
- 幼児(赤ちゃん)と音楽
- 音楽によるコミュニケーションと身体表現活動
などを主な研究テーマとしています

(社会業績)

- 萩市「親学講座」「子育て応援講座」講師(2024年～)
- 文化庁邦楽普及拡大促進事業×至誠館大学地域公開講座「和楽器と出会う一筆一はじめのいっぽコンサート&ワークショップ」(2022、2023)
- 至誠館大学地域公開講座「美しい日本の歌を歌いましょう」(2016～萩明倫学舎、萩市内各公民館にて毎年開催)
- イルミネーションフェスティバル2021 in 阿武町オープニングセレモニー指揮・指導(2016、2017、2018、2020、2021)
- 文化庁主催「学校への芸術家派遣事業」において学校訪問コンサート 2006年
- ブラティスラヴァ・カンマームジークオーケストラとピアノコンチェルト共演
スロバキアミルバツハ宮殿 2005年
- 防府市韓国春川交流団として韓国・春川市にて交流演奏会出演 2004年
- (財)防府市文化振興財団こども合唱教室講師 2007年まで
- スロバキアのスメタナ室内合奏団とピアノコンチェルト共演 2001年

(審査員、委員、所属学会)

- 山口県学生音楽コンクール審査員、TYS山口県学生ピアノコンクール審査員、日本クラシック音楽コンクール審査員
- 萩市男女共同参画推進審議会委員、萩市健康福祉推進協議会委員、萩市地域包括支援センター運営協議会委員
- 赤ちゃん学音楽アドバイザー(日本赤ちゃん学会認定)
- 日本音楽教育学会、日本音楽知覚認知学会、日本保育学会

論文・書籍・資格等

(著書)

- 表現者を育てるための 保育内容「音楽表現」ー音遊びから音楽表現へー
(第4章執筆)、教育情報出版、2020年3月

(学術論文)

- 幼児期の和楽器体験についての一考察ー音楽教育における幼保小連携についてー
至誠館大学研究紀要第12巻、pp103-110、2025年、単著
- 教職実践演習に求められる課題と実際ー実践事例からの一考察ー
至誠館大学研究紀要第11巻、pp81-86、2024年、単著
- シニア世代の音楽活動に関する一考察ーリトミック要素を取り入れた音楽活動を中心にー
至誠館大学研究紀要第8巻、pp53-60、2021年、単著
- 地域連携による大学生の学びの質に関する考察
至誠館大学研究紀要第7巻、pp77-84、2020年、単著
- 病児保育における看護師の専門職アイデンティティに関わる体験
至誠館大学研究紀要第6巻、pp15-16、2019年、共著
- 保育者志望高校生の幼児期における音楽経験ー保育者養成校の音楽カリキュラムを考えるー
至誠館大学研究紀要第5巻、pp101-111、2018年、単著
- 保育者養成校における音楽表現活動からの学びーアクティブ・ラーニングから協働へー
至誠館大学研究紀要第4巻、pp17-26、2017年、単著
- 幼稚園教諭・保育士、小学校教諭を目指す人のためのピアノ指導ー各進度別学生の主体的学びの構築に向けてー
梅光学院大学子ども学部子ども未来学研究第8号、pp71-80、2013年、共著
- 保育内容(表現)にみる「美しさ」とは何かー学生の授業実践記録からー
梅光学院大学子ども学部子ども未来学研究第7号、pp49-56、2012年、共著
- ピアノ学習における音楽をイメージする有効性
山口芸術短期大学研究紀要第42号、pp17-25、2010年、単著
- 音楽心理学の動向について:音楽知覚、音楽と感情、音楽療法を中心に
九州大学大学院芸術工学研究院紀要vol.12、pp83-95、2010年、共著

(CD制作)

- 保育現場で聴かせたい「ピアノ名曲でこどもと遊ぼう」(模範演奏CD)
ドレミ楽譜出版社、2010年初版

学生へのメッセージ

音楽は私たちのとても身近な存在です。嬉しいとき、悲しいとき、思い出の中に耳を澄ますと音楽がありませんか。音楽を自分から発信することで、世代・性別・国境を越えて誰とでも楽しく共有することができます。音や音楽を使い、表現力やコミュニケーションの方法を一緒に考えてみましょう。